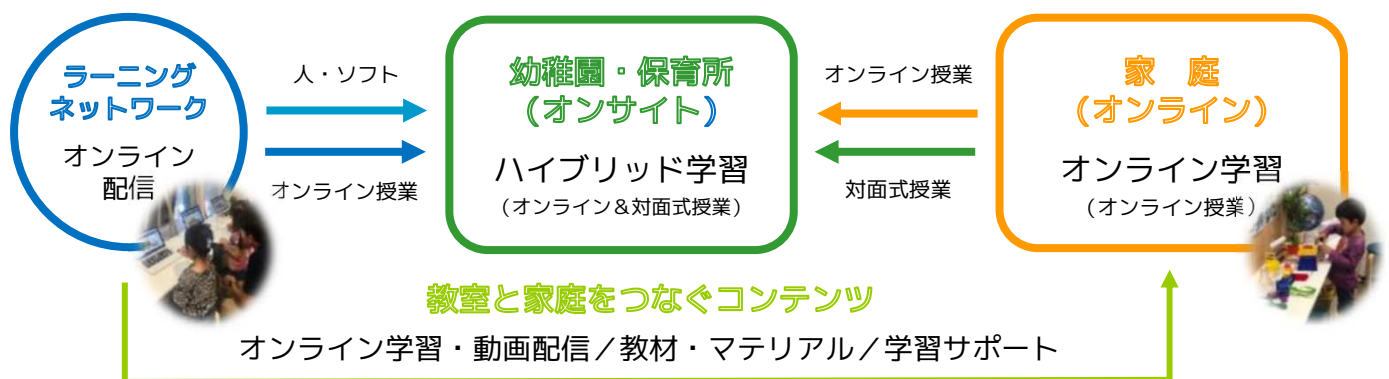


オンラインと対面式授業を組み合わせたハイブリッド学習！
低年齢向け『オンライン・アフタースクールラーニング』のサービス開始！
 ～2021年1月より幼稚園・保育園向けサービスの提供開始～
 （2020年11月よりトライアルスタート！）

グローバル化に適応した低年齢の子ども向け学習プログラムを全国60箇所に提供するラーニングネットワーク（有限会社キャンプリンカーン/本社：千葉県習志野市）は、ウィズ・コロナの新しい学習スタイルとして、低年齢の子ども向けの探求型学習をオンラインで提供するサービス『オンライン・アフタースクールラーニング』を開始します。オンラインでの再現が難しいとされる低年齢の子ども（幼稚園児～小学低学年）向けの探求型・体験型学習を通して、未来のグローバル人材を育成します。

オンラインと対面式授業を組み合わせたハイブリッド学習！

オンライン教育が急速な拡がりを見せていますが、低年齢の子ども向けオンライン教育は質量ともに十分な供給がなされていません（注1）。幼稚園児から小学校低学年の低年齢の子どもは探究活動や体験型の学習を通して人格形成の基礎を育む段階にあり、オンライン化が難しいとされる領域です。経団連が提言する「オンライン教育と学校での対面形式の教育とのハイブリッドな学習環境の構築による新しい教育様式」は、デジタル技術を最大限活用しながら、想像力と創造力を発揮して、さまざまな社会課題を解決して、新たな価値を生み出す人材を必要とする社会の人材需要に裏打ちされています（注2）。そこで、低年齢の子ども向けにオンラインと対面式授業を組み合わせたハイブリッド学習を開発しました。



幼稚園および保育園の正課または課外授業として、外国人講師による「英語で学ぶ体験型の総合学習」をオンラインを通して提供します。オンライン学習に不慣れな幼児期の子どもにとっては、慣れ親しんだ幼稚園や保育園で授業を体験することで、オンライン学習への興味や好奇心を育むとともに、家庭でオンライン学習を継続するためのきっかけ作りの第一歩となります。オンラインを活用することで、グローバル化に対応した探求型・体験型の英語学習を日本中に広く普及しようという新たな試みです。

①幼稚園・保育園へのオンライン授業の提供

正課・課外授業への外国人講師によるオンライン授業の配信（グループ授業）

②家庭へのオンライン学習の提供

家庭への外国人講師によるオンライン授業の配信、家庭学習教材の提供

③オンラインとオンサイトの組み合わせ（ハイブリッド学習）

オンライン授業と対面式授業の組み合わせ、定期的なイベントの開催

社会的背景と開発の意図

■ オンライン教育の現状と課題

オンライン授業の現状は、「園や学校での授業」としてのオンライン授業を「利用したことがある」家庭は、小・中学生で約2割、高校生では約4割です。年中・年長（10.8%）、小1（15.0%）、小2・3（19.4%）と、低年齢になるに従い利用者の割合は減ってきます。「園や学校での授業」が約3～6割、「塾やアプリの配信サービス」では約6～8割が「満足」と回答しています。また、オンライン授業の不満点は、特に小学生では「単調なため子どもの集中力が続かない」に集中しています（※1）。

経団連は2020年7月、小学校から高校までの教育に「リモート教育」（オンライン授業）ができるような整備を求める第1次提言をまとめました。Society5.0時代の人づくりとして経団連は、デジタル技術を最大限活用しながら、想像力と創造力を発揮して、さまざまな社会課題を解決して、新たな価値を生み出せるようにすることが重要だと位置付けています。最長3か月の長期臨時休校期間中、同時双方向型オンライン指導を実施できた学校は小学校で8%、中学校で10%（文部科学省調べ）にとどまるなど、「諸外国と比べて周回遅れ」なのが現状です。経団連が提案するのは、「オンライン教育と学校での対面形式の教育とのハイブリッドな学習環境の構築による新しい教育様式」です。オンラインによる全国で学校と家庭・学習塾などが機動的に連携した質の高い教育の提供、探究型学習による「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）の実施などが重要だとしています（※2）。

コロナによってもたらされたオンライン教育の課題を解消し、低年齢の子どもへの探求型・体験型の授業を通して、次世代に対応したクリエイティブな人材を幼少期から育成することが狙いです。

※1：小・中・高校生の親子の生活における新型コロナウイルス影響調査（ベネッセコーポレーション）

※2：経団連「Society 5.0に向けて求められる初等中等教育改革 第一次提言～with コロナ時代の教育に求められる取組み～」

『オンライン・アフタースクールラーニング』概要

低年齢の子どもたちにとってオンサイト（現場）の教育は欠かせません。担当の先生や教室の仲間たちとの交流、発達段階と興味分野に適した楽しいアクティビティを通して人間の基礎を育む大切な時期です。オンライン・アフタースクールラーニングは、クラスルーム（教室）で行っている授業を、オンラインを通してご家庭で再現し、ウィズ・コロナ時代の子どもたちの「学習機会」の継続を目的としたオンライン学習です。専任の先生だから引き出せる生徒とのコミュニケーションを通して、子どもたちの学習意欲を高め、教室とご家庭をつなぎます。オンラインだけに終始するのではなく、幼稚園や保育園との連携をはかることで、オンサイト（現場）と家庭をオンラインでつなぐ教育サービスです。

① グローバル基準の英語総合学習

世界の子どもたちが学んでいる革新的な学習メソッド

② オンサイトとオンラインをつなぐ一貫したカリキュラム

子どもの学習意欲を高める毎月のテーマに沿ったアクティビティ

③ オンサイトの授業をオンラインで再現

教室で行っている授業をご家庭で体験するオンライン学習

④ 専任のティーチャーとの双方間のコミュニケーション

専任の先生だから引き出せる生徒の学習のモチベーション

⑤ 個別対応の学習サポートと魅力的なイベント

日本人講師による学習サポートと季節ごとの各種イベント



2020年11月より『トライアルクラス』追加募集！

2021年1月からの正式なサービス開始に先駆けて、2020年7月より東京都内、横浜市内の保育園においてトライアルを実施して参りました。全2回のトライアルクラスの募集を始めていますが、ご好評につき、トライアルクラスの追加募集を行うことになりました。ご家庭への配信ではなく、幼稚園および保育園への40分×2回のオンラインでのグループ授業を実施します。

● トライアルクラス要項 ●

- ◎期 間 2020年11月～12月
- ◎時 間 40分×2回のグループ授業
- ◎対 象 幼稚園児（年中・年長）～小学生
- ◎定 員 1回あたり20名（最小開催人員10名）
- ◎費 用 無 料



【会社概要】

ラーニングネットワークは、1996年の創業以来、「熱意あふれる意欲的な学習者を育てる」ことを理念に、アメリカの幼児教育界との強いネットワークの下、グローバル化に適応した幼児教育および学習プログラムの開発を行って参りました。幼児から小学校低学年を対象としたプリスクールやアフタースクールなどの新しい業態を開発する中で、全国60拠点のスクールにおいて5,000名近い子どもたちにプログラムを提供しております。既存の教育機関や学習塾で身につけることが困難な「創造性や自発的な学習姿勢」を育むインフォーマルな教育を通して、未来のグローバル人材を育てたいと考えております。

- 商 号 ラーニングネットワーク（有限会社キャンプリンカーン）
- 本 社 千葉県習志野市谷津1-17-8 SAKビル5階
- 設 立 1996年1月18日
- 代 表 代表取締役 加藤 太郎
- 資 本 金 1,000万円
- U R L <https://www.learningnetwork.co.jp/>



【導入ご検討企業様、本件に関するお問い合わせ先】

ラーニングネットワーク
アフタースクールラーニング事業部 担当：成田（なりた）

Tel: 047-475-3339（月～金曜日 10:00～17:00）

Mail: info@afterschool-learning.com

URL: <https://www.afterschool-learning.com/>

LP: <https://online-afterschool.net>



このプレスリリースに掲載されているサービス内容および情報は発表日現在の情報であり、時間の経過または諸事情で変更される場合がございますので、予めご了承ください。

【本リリースに関するお問い合わせ】

ラーニングネットワーク
有限会社キャンプリンカーン

広報担当：鷲塚（わしづか） <https://www.learningnetwork.co.jp/>
275-0026 千葉県習志野市谷津1-17-8 SAKビル5階
Tel: 047-475-3336 FAX: 047-475-3332
Mail: ai@learningnetwork.jp